大正九年十二月十四日
第三種郵便物認可

夕刊 新京日日新聞

定價 一箇月 金一圓五十錢 / 郵税 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇三・二三五二番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

聯盟脱退處理案
樞府で第一回下審査

〔東京十三日發國通〕聯盟脱退處理案は十三日樞府に御下渡しがあつたので午後二時半から樞府で第一回下審査會を開き樞府から二上委員長の外堀井、武藤兩書記官、政府からは堀切法制局長官、金森第一部長、松田條約局長其他關係官出席、政府兩院の提出材料に基き審査を進め四時過ぎ散會した

聯盟脱退御諮詢案と
樞府に於る態度

〔東京十三日發國通〕政府は十三日正午臨時閣議を開き聯盟脱退の諸手續きにつき内田外相の報告に基き重要審議し樞密院では午後一時から脱退御諮詢案に對する下審査が開かれたが、右は單に脱退の可否を諮詢する一件に過ぎず、他は附屬勅類が大部分なる爲め審査委員の指名はなるべくすぐ行ひ、附屬書その他の下審査は委員會と並行して行ふらしい

柴田書記
官長辭職

〔東京十三日發國通〕柴田書記官長は院内閣議で辭任決定し、後任は法制局長官、堀切善二郎氏法制局參事官黒崎定三氏法制局長官に夫々決定た、（柴田書記官長は例の令息に係る事件から議會の問題となり、本年一月十七日斷然辭表を齋藤首相に提出したが齋藤首相は此種の問題は判然させる必要がある、此際引責辭職する必要は無いと慰撫して今日に及んだが、最近に至り柴田氏に辭職を勧告する向きもあり、柴出氏も議會終末が近付いた昨今の情勢を適當な潮時と見て首相に辭職を懇願し其の實現を見るに至つたのである

法制局第二部長
更迭

〔東京十三日發國通〕黒崎法制局第二部長の法制局長官榮轉に伴ふ後任は左の如く決定した

法制局參事官 村瀬直養
命法制局第二部長

新賓縣を
興京縣と改稱

十二日の國務院會議は午後二時より同會議室にて開催されたが、上程を見たる議案左の如し

一、軍事郵便に關する件
二、軍事郵便の辯理につき本國内に駐屯する日本陸海軍の郵便線送及び接受を準用するの件
三、奉天省新賓縣を興京縣と改稱するの件
四、國道局人員を任命するの件

熱河省警務
指導の爲め
警務司を派遣

熱河軍事工作一段落と共に、熱河に於ける建設工作への歩調は、各方面より着々として押進められつゝあるが、熱河省中央統制機關たる民政部では同省の、警務指導のため警務司を派遣する事に決し一行の十名は十三日午後十時新設省政基礎建設の使命に勇躍しつつ壯途に就いた

内地爲替銀行
本日弗爲替開始か

〔ニューヨーク十三日發國通〕米國の銀行休業で、弗爲替取引中止中の内地爲替銀行では十三日米國爲替市場再開し、十四日右入電あれば十四日より弗爲替取引開始する事となつた

銀行再開
に際し
米大統領聲明

〔ワシントン十三日發國通〕ルーズヴエルト大統領は愈々十三日聯邦各銀行を漸次再開せんとするに當り、十三日午前十時全國民に對し金融恐慌打開の爲め協力を要請した聲明書を發した

三陸地方の
震災復興費
八年度追加豫算

〔東京十三日發國通〕三陸震災地代表者の陳情により政友會の山口、濱田、民政黨の松田、小山氏等は、十三日午後一時四十分、院内に齋藤首相を訪問して、三陸震災地復舊に關する國庫補助費を十五日政府が提出する八年度追加豫算に

朝鮮同胞に依る
日滿興隆の途（五）
小笠原省三述

ブラジル移民を中止せよ

ブラジルに移民を送つてより二十五年、約十五萬人の同胞が移住し、猶ほ年々一萬餘渡航しつゝある。

何が故にブラジルに移住しなければならぬか、否、移住せしめなければならぬのか此の根本的意義が、今日の日本官民に明確にされてゐない。

數年前迄は、人口調節の爲めに必要だと云はれてゐた。「人」は富である、生産の主體であるが故に、最上の國富である、殊に天然の資源貧弱なる日本に於いては「人」こそ日本の有する唯一の强味だ、是を南米の荒野に移住せしむる事は、國富の無意義なる放擲だ。

一年九十八萬人の增殖人口を僅々一萬人移住せしめてどれだけの調節が出來るものか（政府は、北海道よりブラジルに移住勸告をなしつゝあるは如何なる理由か、殊に朝鮮人の渡米者三萬人あるのだ、此の數字を如何に考へたか）

嘗に一萬の同胞を送るのみならず、是が爲めに約一千萬圓の國費をも使ひつゝある（是が詳細なる數字は他日發表する）又昨年から渡航費他に支度金五十圓を支給してまでも盛んにブラジル熱を宣傳しつゝある事は、われ等「日本第一主義」を奉行する者の理解出來ぬ奇怪事である。

ブラジルに移住した日本同胞は、何處の國の國民になるかブラジル國民となり、ブラジルの國富を增進せしむるに過ぎないではないか

たとへ、日本移民が數百萬町歩の土地と數億本の珈琲樹を所有しても、それは日本國及日本國民の所有ではない、悉く、ブラジル國及ブラジル國民の所有であるのだ。

一萬三千浬の遠き他國の富を增進せしむる爲めに、日本は健全なる國民と巨額の國幣とを費消しなければならぬ理由は何處にあるか。

殊に、日本は今、非常時だ一人の同胞も、一錢の國幣も國難打開に必要であるのに拘らず、今年、二萬五千人を移住せしむると云ふに至つては關係官民の常識と愛國心の程度を疑はずには居られないではないか。

又、外務、拓務及其の他の移民業者共は、日本移民をブラジルに同化せしむる方針を執つてゐる、誠はざるの甚しきものだ。

三千年の特殊文明を有し、世界第一の高き教養ある日本人が、かの低級なるブラジルに同化出來得るものでなく、それを强要する事に依りて益々ブラジル移住の無意義なるを覺ゆるものである。

ブラジル人の八十パーセントは無學文盲者だ。就學兒童率の最も良きリオ市でさへ僅に六十パーセントだから、奥地住民の程度が知れてゐるではないか。

ブラジルには二百萬の伊太利人が居るが、彼等は浮浪者と食犯罪人であつた。

日本移民は如何に貧困な農村民でも、禮儀と秩序とを有し殊に政府の補助に依つて渡航するが故に、ブラジル國は一文の支出も要らないから歡迎するは當然である。

日本官憲の誤れる指導方針に依りて、ブラジルの日本移民は日本的宗教を與へられてゐないのみならず、一切の日本文化より遠ざからしめられつゝある現狀を如何に看るか

第十四回
輸入組合役員會

一、開催日昭和八年三月八日
一、場所輸入組合事務所
一、出席者理事久末吉次監事石黒仙治郎西村清兵衛評議員吉田廣盛杉尾正一、百武久吉、大本六二、今井覺太郎乾辰三 計九名

午後七時五十分開會久末理事議長となり決議の要領左の如し

報告事項

一、二月中事務報告の件 理事より月報内容に對し詳細報告す
二、第四回滿洲見本市問題經過報告の件 本月二日大連に於ける聯合會理事會の決議要綱を報告せり
三、低資運動並各組合負擔事項報告の件

愼重審議の結果左記の通り之を承認可決す

可否	業別	氏名	在來口數	增口數	合計	摘要
承認	酒精飲料	吉井壽一	四	三〇	七三	商原員連署
同	和洋雜貨	吉田廣盛	五〇	二〇	七〇	同

右之通り終了し午後九時三十分散會す
昭和八年三月八日

決議事項

一、輸入組合定款變更の件 第三十八條第一項中「貸付利息の二十五分の三」とあるを「貸付利息中日歩金二厘」と改む
二、昭和七年度聯合會檢査員選擧の件 鞍山坂元理事安東石井理事
三、駐在員規程改正の件 聯合會駐在員事務所を聯合會出張所に改むるため規程中關係個所を改正す（詳細は之を略す）
四、增口申込審議の件

理論上より之を見れば當然聯合會に於て負擔すべき性質なるは聯合會當事者も之を認め居るも之を負擔すべき資格なきを以て割當額負擔方懇談ありたるを以て低資融通に際し運動費負擔額を考慮に入るゝものにあらざる旨公文にて回答を得て割當額の負擔を承諾したる旨を理事より報告し之を承認せり。

協議事項

一、東北地方大震災義捐金募集後援の件 理事より當地興行の大滿蒙新聞社に於て首題義捐金募集に付後援方依頼ありたるを以てこれが取扱方を協議し左記の通り決議す

組合理事名を以て全組合員に寄捐申込の勸誘状を發し組合にて取纏め申込むこと但し最低一口金五十錢とす

一、顧問推薦の件 全會一致を以て新京地方事務所長荒木章氏を顧問に推薦しこれが手續を一任せり

三、第十回臨時聯合總會（紙上）議案事後承認の件 本件は三月七日を回答期日として左記議案を附議せられたるものなるも臨時役員會を開催するの必要なきものと認め理事に於て原案贊成の回答を發したるものに付事後承認を求むと提案し審議の結果事後承認を可決す

費に計上されたいと要求し、右に對し齋藤首相は之を諒とし、直ちに内務、農林、大藏文部の各關係省へ至急追加豫算へ計上方を命令した

怪人凱歌（百七十二）
須藤鐘一 作
（畫）灘秋方

學良の下野眞相と北支の蔣、張軍對立

天津に於ける某方面の觀測

(北平十三日發國通)飛行機にて十二日午後三時上海に到着した學良の下野原因としては種々傳えられるが相當信ずべき筋の情報によると次のやうな觀察が下されてゐる

×　×　×

過般蔣介石の漢口出發に當り招電を受けた馮玉祥、閻錫山が石家莊にて蔣と會見の際、蔣は現時局の重大と對日非常策を說明して右兩人の協力を求めたるに兩人も蔣の意を諒として之を承諾、協力することを誓つたもの、馮、閻として個人關係からどうしても學良を下野せしむべきであると進言したるに對し蔣も遂に學良下野の意圖を有するやうになり、今次の學良の下野となつて現はれたと言はれる、また一面學良將領中には學良の下野に對し反對を稱へるものも少くないが、學良としてはどうしやうもない窮極に立つに至つたものである、然し學良は熱河にて敗戰したとは言へ、今尚十二三萬の(僞勇軍を除き)直系の兵力あり、若し蔣にして北支那に覇を稱へんには此學良直系兵力に對應する適當辨法を以てしなくてはならず、蔣としても相當の國難を豫期しなくてはならぬであらう

在北平要人集合 居仁堂で對日策協議

(北平十四日發國通)十三日午後六時二十分保定より北平に到着した羅文幹は直ちに居仁堂に赴き、何應欽、萬福麟、蔣伯誠等並に同列車で歸來せる劉崇傑と會見、蔣介石より授けられたる對日策につき重要協議をなし深更に及んだ、羅文幹は居仁堂で新聞記者團に對して日支直接交渉はまだその時期に非ず自分はその使命を帶びずと極力逃げてゐた

馮玉祥依然と對日強硬論を吐く

(北京十四日發國通)張家口に馮玉祥懐渡しの爲めに赴いた李烈鈞は十三日夕刻北京に歸來、何應欽と會見、馮の態度に就き報告、直ちに蔣介石に報告の爲め平漢線で保定に向つた、確聞するに馮の態度は依然強硬で蔣介石が直ちに眞に抗日の決心を示さざる以上これと合作の意志なしとはねつけたものだと、然し蔣介石との會見は逐次實現するやも知れないと言はれてゐる

對日強硬論の馮

學良軍は是非なく抵抗を續く

(古北口十三日發國通)王以哲が長城に立籠つて最後迄頑強に抵抗を續け、相當永い間退却の模樣を見せなかつた原因は古北口陷落で左の如く判明した

それに依ると斯く勇に抵抗した理由は曾つて上海事變の際支那軍の用ひし戰法と同樣で、第一線の背後に督戰部隊としての第四十五師があり、前線では猛烈な督軍の急追擊に遇ひ、逃げれば督戰隊に依つて慘殺されるので、退くに退けず、進むに進めず死もの狂ひで抵抗を續けねばならぬ巧妙な督戰に依ることが判明した

而して右日本軍と第四十五師の督戰隊の中央に挾つて是非なく闘つてゐたのは學良直系の第百十二師と王以哲の第百七師にして蔣介石としては日本軍との交戰に依り、手を下さず學良の精鋭部隊を瀕死の狀態に導くことが出來たのである、而して斯く威嚇的に督戰し約二百名の兵力を擁した第四十五師も、我軍の飛行機の爲めに多大の損害をうけて潰走した

羅文幹 三國公使と要談

(北平十四日發國通)羅文幹は昨夜駐支英米佛三國公使を訪問、何か協議の上今曉三時に再び保定に向つた

赤峯治安確立

(赤峰十三日發國通)赤峰治安恢復と共に諸業の復興も目覺しいものがあるが、教育界に於ても十二日特務機關に各關係者參集し、復興準備會を開催可及的速かに復興方申合せ尚教科書未だ決定せざる國文修身書の如き改訂を要するものの外は從來のものを使用取敢へず近く復校を見る模樣である

承德附近 戰爭工作順調

承德附近は戰事工作順調に進み平穩に復しつゝあり滿洲國獨立を謳歌する氣分が濃厚に漂ひつゝあるが湯玉麟の虐政に住民は飢餓上み彷徨してゐる從つて王道政治滿洲國獨立を評解し將來を待望してゐる

闘場附近の敵 飢と寒さに振ふ

闘場附近に在つて退却する老ノ勇敢 茂木部隊長に抵抗してゐた僞勇軍も狼狽其の極に達し退却の際衣類、彈藥は勿論、戰友、上官の死体をも其儘放棄逃走し、參戰出發以來兵卒は僅か一圓五十錢を支給されたのみである爲止むなく掠奪を行つてゐる、なほ防寒被服も甚だ不完全の爲兵の三分の一は凍傷患者である

北平に戒嚴令 日本人、外人は不適用

(北平十四日發國通)戒嚴司令部は昨夜十二時から北平市内外に戒嚴令を布いた、當分十二時から午前六時まで施行するが、日本人、外人等には何等適用されないもので未だ左程嚴重なものではない

熱河討伐一段落で 入省者殺到す 既に三百名に及ぶ

(錦州十三日發國通)熱河討伐の皇軍の疾風迅雷的軍事行動一段落と共に、熱河省内各都市は俄然活況を呈し入省希望者續出するに至つた、右に關し關東軍では利權屋不良分子の入省を嚴重に取締るべく入省者に對しては全部許可主義を執りつつあるが、三月八日より十三日までの入省申込者數既に三百名に達し、尚申込殺到しつつあり當局では取敢へず詮衡の上八十九名の入省營業を許可したが、右の内譯は左の通りがある

承德商人　十名　料理屋　六名
赤峰商人　六名　料理屋　六名
朝陽商人　六名　料理屋　四名
凌源商人　二名　料理屋　三名
扣北營子商人　五名　料理店　二名
北票商人　十九名　料理店　四名

尚目下熱河省内各都市に既に許可を得て營業中の邦人娘子軍の入省申込みは、二百五十名で内百五十名が前線出發を許可された

喜峰口南方 大敵なし

(錦州十三日發國通)十三日午後二時我飛行機の偵察によれば、喜峰口には我○隊の主力が居り、同地にて長城の關門を完全に扼守して居る、尚喜峰口南方には敵の大部隊は見えない

我飛行機 喜峯口で敵軍に猛擊

(錦州十三日國通)今朝喜峰口方面の爆擊に向つた○○○機は、午後一時卅分撤河營の敵集團を爆擊し、多大の損害を與へ、又○○○機○機は喜峰口南方六キロの地點で敵に爆擊を加へこれを潰走せしめた

赤峰○隊長の首に懸賞金百萬元 支那側が苦肉の策

(赤峰十三日發國通)北平軍事分會は熱河奪回に焦慮し、赤峰駐屯中の○○○隊長等の首に何れも百萬元の賞金をかけて便衣隊を使嗾しつゝあるが、日滿軍の嚴重なる警戒と赤峯憲兵隊の水も漏さぬ警戒に手も足も出ぬ有樣である

廿一國諮問委員會に米參加受諾回答

(ジュネーヴ十三日發國通)米國政府は兼ねて聯盟より招請を受けてゐた二十一ヶ國諮問委員會の參加を受諾の旨十三日午後正式に聯盟事務局に回答通告を提出した、これで諮問委員會は二十二ヶ國となつたわけである、然して理事國は英國、佛蘭西、獨逸、アイルランド、チエツコ、伊太利、スペイン、パナマ、諾威、メキシコ、ポーランド、グアテマラ、非理事國はコロンビア、ハンガリー、ポルトガル、スヰス、トルコ、スエーデン、ベルギー、カナダ、和蘭、非聯盟國は米國である

一擧北支に兵を進め斷乎膺懲すべし
支那の挑戰的態度に對し 關東軍幕僚等激憤

熱河經略は滿洲國内問題にして從つてこれに關聯する軍事行動は熱河省境に限定せらるべきは當初より關東軍も聲明せる處なるが、今時軍の疾風迅雷的行動により既に其の目的を達成し、長城關門も既に關東軍第一線兵團の手によりて占據せられたる處、數日に亘る北支正規軍の長城線上ここに古北口、喜峯口、に於ける挑戰的態度は我に相當の損害を與へたるのみならず、杭州から中央軍飛行機數台は十一日以來出動北上し、又南京からい二十數台の飛行機が北上したとまで傳へられ、かくの如き狀態にて繼續せられんか熱河肅清も意の如くならざるべきを憂慮せる關東軍首腦部は重ねぐ支那側の挑戰的且つ沒常識的態度に勘忍袋の緒を切らし、支那側にして飽く迄上述の態度に出るに於ては我も又身に振りかゝる火の粉は拂はざるべからずとの見地より、北支方面に對する實力的軍事行動に出るの止むを得ざるに至るべく萬一事態擴大するとも其の責は支那側にありとの意見相當有力となりつゝあり某有力幕僚の如きは卓を叩いて強硬論を主張しつゝある

邊墻附近で茂木部隊殘敵を潰滅

(赤峰十三日發國通)赤峰一番乘の武勳赫々たる茂木部隊は、三月四日西方に敗走する殘敵を急追擊して西進、圍場を中心にして散在せる殘敵掃蕩に努め、十一日赤峰に向け引上げの途中、敗殘兵五百余と邊墻山東北方に於て遭遇、激戰の結果敵多數を斃し、潰走せしめた、我軍の損害戰死負傷者各一名である

赤峰の皇軍 附近の兵匪掃蕩

(赤峰十三日發國通)赤峰入城の○○○の各部隊は休養の暇もなく順次西南方各地の討伐に向つたが、茂木部隊を殘すの外十二日まで全部赤峰に凱旋して來た

兵匪僞勇軍 西部熱河に總退却

(赤峰十三日發國通)茂木部隊の急追と北熱河に於ける滿洲國軍の活躍に洮遼方面の後方攪亂を果さず、赤峰、烏丹城間に集結合流した檀自新、湯占海、鄧文、孫殿英、李海青、解國臣等の兵匪僞勇軍等は西部熱河省境に總退却中で彼等の集結地點は察哈爾省多倫となり爲に同地方は大混亂を呈してゐる

滿洲國王永清軍 烏丹城に向け進擊

(赤峰十三日發國通)洮遼軍第一支隊王永清軍は、十一日夕刻林東に入城、十二日早朝大板上より烏丹城に向け進擊中である

熱河北部を護る 石文華、崔興武歸順

(赤峰十三日發國通)林西に遁走した騎兵第十二旅長石文華及第九旅長崔興武は劉桂堂の斡旋で愈々歸順することゝなり、劉桂堂の護國遊擊軍と協力、熱河北部地區の治安維持に當ることゝなつた

密山包圍され 邦人の安否氣遣はる

(ハルピン十三日發國通)東支線東部方面に於ける匪賊の活躍は次第に峻烈となり、密山は十二日夜二千に匪賊に包圍され、交戰中だつたが、其後何等の消息無く、安田縣參事官、福岡警務指導員の生命が氣づかはれてゐる、一方寶清に於ては有力な匪賊部隊が八日同地を襲擊し、警務指導員石川雪衛は戰死した

宋子文辭職 直接交渉の障碍一掃

(北平十四日發國通)南京電報によれば、宋子文は十二日行政院に辭表を提出したと傳へられてゐるが、學良と非常に密接な關係にあり且つ日支直接交渉に極力反對して來た宋子文の事とて蔣介石の完全なる北支政局把握の見込みが立てば對日政策の轉換を以て覇業完成を志す蔣の事故或は日支直接交渉の障碍物として宋子文と手を分つ事も此際或は辭せざるに非ずやと見るものがある

王以哲の第百七師 長山峪戰線に地雷火を敷設

(承德十三日發國通)長山峪馬圏子、黄土嶺の線に陣地を設け、可成り頑強に抵抗を續けた敵は、其後の調査によれば、王以哲の第百七師で、我軍の彈に斃れた兵は皆同師の正規兵のみであつた

又敵軍の使用した電氣仕掛けの地雷火は百數十個の多數に上り、其大部分は裝置法を知らず、我軍の急追に爆發せしめる暇もなく、退却した、尚是等の雷火は、我軍の戰利品とするところとなり、逆に敵軍爆破に使用する事となつた

黑省警備司令官 武藤司令官に祝電

黑龍江省警備司令官張文鑄より武藤軍司令官宛左の祝電到着せり

報告に依れば熱河の逆軍は已に擊破せられ日ならずして全部肅清を見む、勝報續く傳はり擧國狂喜しあり、逆賊多數を以て不逞をなすも必ず殲滅し出べく是れ實に閣下の○○を蘇生せしめ水火の中より救ひ衽席に登らしめたるは皆閣下の賜なり、謹て全省の軍民を率ひ一報を以て勞を慰め更に閣下御援助の厚誼を謝し併せて御凱旋を祝す前方の將兵に御轉傳を請ふ

張總司令 討熱日本將兵を慰問す

(赤峰十三日發國通)滿洲國軍前敵總司令官張海鵬氏は十三日午後一時二道街の日本軍將兵を慰問し、豚肉、鷄卵、菓子等を送り、丁重な慰勞の言葉を述べた

駒井參議退院

(下關十四日發國通)九大病院を退院した駒井參議は昨夜八時半下關發東上した

九世紀前に 日本人熱河に入る(三)

島田好

遼史の天贊四年の記事に當たる記錄は我國史に見えない。天贊四年といへば遼がまだ渤海を滅ぼさない前であるから、かゝる時日本人で遼と交通したものがあつたらうとは思はれない。支那には遼が慕化來貢したといつて、時の君主の歷史を粉飾する常套手段があるから、遼史來貢の記事は餘程注意して讀まなければならない。若し假りに天贊四年の記事にも多少の事實があつたとすれば、それは支那か渤海かに行つてゐた日本の冒險家が好奇的に遼に旅行を試みたのを、遼史が斯く記しただらう。然し確かな所では、日本人が初めて遼へ入つたのは我が寬治六年即ち遼の大安七年で今より八百四十二年前である。さて日本人は如何なる經路を通つて何處まで行つただらうか。寬治六年には唐人(實は宋人か)の嚮導で行つたとあるから、海路渤海の一港に至つたものだらう。寬治六年のは記載がないが、これもさうだらう。而して遼史には共に來貢と載せ位だから、國都まで行つただらう。少くとも伊房等の使者が僧侶であつた點から考ふれば、伊房等の目的は單に貨物の交易のみではなく、他に何か宗教上又は其他の目的もあつただらうから、必ず國都まで行つただらう、單に海港で貿易して歸るのみなら、伊房等は何も僧侶を派遣する必要もなく、また遼史にも日本國來貢とまでは載せなかつただらう。當時遼の都は今の熱河省巴林の東北四十滿里なる渡羅城にあつたから、彼等は深く熱河省に足跡を印しただらう ●

次ぎに日遼の交通は其後どうなつただらうか。遼史には大安八年以後には日本國來貢の記載がない。百練抄寬治七年の條に「二月十九日諸卿、定申渡る商客並に道言、能算等の爭論のことを定申す」とある。此の文は餘り簡單であるだけではわからぬ、又今日通行本の中右記は生憎く寬治六年七月より寬治七年九月までの間が缺落してゐる、然し大日本史は諸番列傳遼の條に「堀河帝の寬治中商船契丹に至りしに、契丹の商這台、能算等亦來りしが、事を以て相爭ひければ、遂に之を禁絶す」と載せてゐる、大日本史は何に據つて斯く記したかわからぬが、大日本史のことであるから、當時何か確かな據り所があつただらう、是れによれば我が寬治六年の末か七年の初めに遼からも道言及び能算といふ商人が我國に來てゐる。然し彼等は如何なる原因だつたか、我國人と事端を惹起したから、寬治年以後の交通は禁ぜらるゝやうになつた(終り)

人事往來

▲小山憲兵隊長(新京)十三日午後四時三十分南行
▲新見憲兵隊長(大郎)十三日午後七時五十分來京
▲馬仲援氏(營口海關監督)同上
▲于琛徵氏(中東鐵路護路軍總司令)十三日午後九時來京
▲孫為函氏(上校參謀)同上
▲于竹賢氏(上校軍需處長)同上
▲蔡紂杰氏(上校參議)同上
▲進藤功大佐(騎兵第十八聯隊長)十四日午前八時來京
▲中山健大佐(步兵第二聯隊長)同上
▲熙財政部總長　十三日正午來京
▲久保田大佐(佐世保鎭守府參謀)十三日午後〇時三十分奉天へ
▲張軍政部總長　十三日午後二時五十分歸京
▲甘粕大佐(步兵第十五聯隊長)十三日午後三時三十五分來京
▲河本理事(滿鐵)十四日午前九時大連へ
▲戶田理事(鮮鐵)十四日午前八時來京
▲福ゝ稅關長　十四日午前八時來京

今にして不可解 滿支國境は長城の北
この非國民的地圖を賣るは誰
各種團體猛然起つ

滿洲建國以來、滿蒙支那に關する地圖が各書[illegible]から發賣せられこれがまた羽の生れて飛ぶやうな賣行であるが、調査不充分のためか、認識不足か、將た故意か熱河省と支那との國境を長城線に取らず熱河省内に入り込んだ從來の省界をもつて色づけ平氣で發賣し居るもの多々あり、熱河討伐完了の今日、なほこの種の地圖が市中に販賣頒布せらるるに於ては日滿兩國民は許より世界一般に及ぼす認識是正の上から由々しき大問題を惹起するものであるとなし、亞細亞研究會、長勇會初め各種團體から

一、不正地圖を放棄燒却せしめよ
一、不正地圖を販賣せる書店及び發賣元に嚴重戒告を加へよ
一、[illegible]

との聲漸く市中に湧き内地はもとより全滿的表面運動化さんとするに至つた

支那、聯盟に乘ぜられることは明
大阪屋號發行の地圖

即ち右不正地圖の最も甚しきは昭和七年六月一日西山榮久氏著作、大阪屋號發行「新國家大滿洲國地圖」であり、同地圖は比較的見安い處から滿洲國手引として各方面に【利用】せられ來つたが、たまたま熱河討伐の中、右地圖によつてみれば「滿州國と支那との國境は長城よりはるか東、北舊支那全圖による省境をそのまま山海關より乾安鎭石柱子、丕々山、柳花嶺の線を確然と色分けし、支那との國境は長城のはるか東北方に示されてゐる、滿洲建國の際大滿洲國の支那との國境は長城をもつて境となすことは判然させる處で、同地圖が昭和七年六月發行せられ居るに何故斯の如き誤謬を本氣で印刷而かも[illegible]新の如きは支那は許より國際聯盟初め諸外列國に對して乘ぜられる結果となり如何に營業とはいえ斷じて放置しおくべきものでない」となし右亞細亞研究會及び長勇會は右地圖の【廢棄】を[illegible]起つに至つたものである

[illegible]ば相當長い期間、今日まで平氣で賣捌かれてゐたとは又もつて笑止千萬な次第である

滿洲各地に
公然賣られてるとは何事
亞細亞研究會員談

右不正地圖を發見した亞細亞研究會の某氏は語る

滿洲建國一年有余日、なほ斯の如き不正地圖が市中に【販賣】せられるに於ては日滿兩國のため歎し難い、實に認識不足といふか非國民的といふか、この厳然たる事實に對して何たる間違であろか、もし過ちたるものであらばよし直ちに全部の地圖を燒却して日滿兩國民に謝罪すべし故意になしたるに於ては非國民として處置を講ずるであらう、事實の如き地圖が市中に賣擴められ支那に渡り、聯盟諸公の手に渡らんか日滿兩國今日の主張はこの種不徳漢の一事によつて完全にうち壊され彼等に乘ぜられる結果となり自らが自らを縛る破目に陥る、[illegible]して滿洲各地の[illegible]たい【今日】まで何をしてゐたか、昨年六月から今日までといへ[illegible]

大ハルピン建設計畫

〔ハルピン十三日發國通〕大ハルピン建設委員會は、大都市建設の五ヶ年計畫を樹立し滿洲國に於ける經濟的中心地となす計畫であるが、ハルピンの人口は二ヶ年後には二百萬の多數に達するだらうと豫想されて居る

秋季大演習日取

〔金澤十三日發國通〕今秋十月二十二日から二十七日まで福井縣を中心として擧行される陸軍特別大演習日取りは左の如く發表された

自九月十一日至九月二十日 師團幹部演習
自九月廿八日至十月十日 師團中心大演習
自十月十一日至十月廿一日 秋季聯合演習
自十月廿二日至十月廿七日 特別大演習
右内譯
十月廿二日 集合
十月廿六日 演習終了
十月廿七日 大觀兵式

露滿國境附近に匪賊の出沒頻々

〔ハルピン十三日發國通〕最近露滿國境附近に屢々兵匪出沒し十一日朝はポグラニチナヤ附近に三百の匪賊突如來襲我警備隊は應戰直ちに多大の損害を與へて之を擊退したが我損害戰死二名、負傷一名を出した、特に國境に兵匪の橫行するは某國の支援あるものの如く重大視されてゐる

學級增加の要望が次第に高まる
惠まれぬ新京の兒童たち
父兄間で寄々協議

小さい兒童の胸を高鳴せ父兄の憂慮をかつてゐた、新京の入學試驗も悲喜交々の裡に無事終了したが不幸入學の榮冠を贏ち得なかつた氣の毒な兒童二百有餘名は【多年】の辛苦も水泡と消え、又一年の辛惱をなめねばならぬ破目に陥つた可憐な兒童の負擔としてはあまりにも重大であり、又憐むべきであると父兄間に於ては商業、女學校に學級增加要望の聲が昂まつてゐる、現に奉天中學の如きは去る九日一學級の增級認可あり最も父兄間の力強い請願の【賜で】あるが奉天に比して新京は遙かに入學難で本年の新京商業は受驗者二百二十名、その内九十九名の入學許可で十人に四人の割であり、奉中の十人の五人より入學率は尚く如何なる萬難を排しても學級の增加は焦眉の急務として心ある父兄間には寄々協議してゐる

痘瘡患者が汽車に乘つてゐた
快癒期のもので先づ安心

十三日午前八時三十分洮南發大連行第二十列車が開原到着直前乘務車掌が同列車三等車に天然痘類似患者あるを發見直に開原驛に下車せしめ醫師の診斷を受けた處、右は滿洲人楊明信(十二)で目下天然痘快癒期にある者と判明、開原滿鐵病院に入院させたが、滿鐵では本年最初のものであり之れから暖くなる際とて事件を重大視し、大消毒を行ひ防止に萬全を盡した

滿洲に巡業
關西角力協會

關西角力協會といふのが出來去る二月中旬大阪堂ビル前で初興行相當の成績をあげたがその成績に基き左の新番附が出來やがて滿洲にも巡業に來るさうである

大關 天龍　小結 錦洋
關脇 大ノ里　前頭 信夫山
前頭 肥州山　前頭 藤ノ里
同 枕の峯　同 玉碇
同 山錦　同 大島
同 倭ヶ岩　同 常陸島
同 淺の浪　同 鳴深

以上が主なるもので行司、審判員と言ひ、巡業中の成績も本番附に影響するので大いに努力する結果面白い角力が見られるさうである

三 プスモスに委ね神秘の都承德を訪ふ
善美を盡せる奈良の都を偲ぶ
錦州にて―青山特派員發

飛行機より降りた記者を素晴しい大人とでも思つたのか居合せた住民は日章旗、五色旗を打振りながらペコン、ペコンと頭を下げる、記者も一々答禮する、この處ちよつと【應接】に遑がない、飛行機の着陸に物珍しさうに住民は河を渡つて見物に來る、これらの群集の中を分ける樣にして離宮に向つた、城壁の入口には赤と青のアーチが建てられてゐる、城内は日本軍歡迎の渦が巻き、湯の苛斂誅求より脱し王道の光を心ゆくまでに浴した、市民は正義の日章旗と平和の五色旗の波に王道を謳歌し、樂士のタクトに明かな平和の前奏曲は歡喜のリズムに乘つて街中を漫歩してゐる

生れて初めての大人歡迎にすつかりいい氣持になつた記者は、凍ついた分厚い石疊のペーブメントに承德訪問の第一歩を踏入れた、右手に堅く氷結して帶狀となつてゐる【灤河】の支流も遙日の春の訪れに破顏しかけ「春は[illegible]より」を思はせる、ふと記者の眼に止つたものがある「北平張委員長歡迎」のポスターである、二週間ばかり前張學良が宋子文と飛行機で來て、抗日作戰を錬つた時の歡迎ポスターであらう、今はすつかりはぎとられてしまつたが、一枚だけとり殘された樣に淋しさうだ、スタンダード石油會社出張所がある、あらゆる現代科學の粹と研究に研究を重ねた經濟機構を以て時代の尖端を行く同社と、清朝時代の豪奢の遺物である、承德を思ひ合はす時自然に【微笑】せずには居られない、

離宮の正門に出た四日の我軍の猛擊に最後の牙城とたのむ省城承德を放棄し、倉皇として北支に遁走した湯玉麟の東洋古代美術の豪華を誇る居城である、城門の入口には日本軍の佈告がペタリと貼られ三々五々と集つた市民は嬉しさうに大聲で讀んでゐる、赤と青で彩られた離宮の奧まつた一室には從軍記者が疲れを休めてゐたその中には顏見知りの人もちらほらと見受けられた、省政府の事務室であつた各室は西部隊の本部となりキチンと【整頓】され、立派な角テーブルや紫檀の椅子が並べられてある、皇軍入城五時間前に逃走した湯の部下が捨鉢的にこわしたのであらう掛軸が半分千切れてかけてあつたり、穴のあいた衝立の向ふに窓硝子がかけてゐたりしてゐるのは痛々しい湯玉麟邸の内房には湯の妻妾の部屋らしい豪奢な寢台が備へ付けてある部屋が幾つもある、枕元には美麗な煙草盆が置かれ、壁には支那古代の美人が湯上り姿で立つてゐる畫が貼りつけてある、天井に吊された豪華なシャンデリヤには湯の贅澤な生活の一端を偲ぶに余りある皆に情緒豐かな光景である、湯の起居した部屋には孫文の寫眞を飾り、【達筆】で書かれた三民主義のスローガンの大きな額がかけられてある窓外に眼を遣せば

鬱蒼たる、老大木の間に悠々とたわむれる鹿の都奈良の樣だ、ひろびろした池には古色蒼然たる石橋がかけられ、その橫手には有名な十二層の老虎塔と全市街を俯瞰してゐる更に眼を轉ずれば外郭を流れる灤河を隔てゝ線の緩い山麓には純西藏式の大寺院がその豪華版を競つてゐる、宏大な規模、善美を盡した宮殿、東洋古代美術の粹を蒐めた寺院加ふるに自然の景勝すべては奈良朝時代の繪卷物でもくり廣げてゐる樣な氣がする、恍惚として時のたつのを忘れ【感嘆】久しうして辭した飛行機の離陸時間に遅れはしないかと氣づかひながら元きた道を忙いだ、機はもう一度承德上空を一周別れを惜しみ將に第二の奈良を離れんとしてゐる記者は不日寸暇を利し承德を訪れる事を誓ふ、さらば承德、もう一度ふり返れば老虎塔が渺茫として熱河の空に聳えてゐるのみ(終)

長城一番乘の若武者池上少尉

〔古北口十三日發國通〕十日古北口突擊の命下り、長城一番乘りの武勳を樹てた田中支隊の中で錦の鞍掛に宮家御下賜の大旆を掲げ殿軍に拍車を加えて【長城】を目がけ驀然と突入せる青年將校あり、其勇壯な姿は全軍注視の的となつたがこの青年將校は名を池上秀雄といふ少尉、士官學校を卒業間もない若武者である同少尉は北白川宮永久王殿下と同期生の榮を忝ふし卒業の時畏多くも御紋章入宮家旗を記念に下賜されたが、池上少尉は此日も御紋章入大旆を掲げながら感激に滿ち長城に突入したものである、腕には赤地の布に白骨を染めぬいた腕章を纏つて決死の程を示し、田中支隊では此一隊を[illegible]隊と名付けてゐるが總員五十一名は假令白骨と化すとも敵軍を擊滅せずば止まずとの固い決心池上少尉は腰に兵舟の名刀を打込んでゐるが長城突入の際は【敵兵】を斬りまくつたと見え柄は割け、刃はこぼれ、刀身は生々しい鮮血を以つて染められてゐた

第五回彩票頭彩は 一三四、二八〇
奉天森洋行の代賣

第五回北滿救濟彩票抽籤は例によつて十四日午前十時から城内商務總會で關係官立會の下に擧行その結果頭彩以下左の如く決定發表された、なほ頭彩はハルピン、二彩は新京、安東、奉天で賣と判明した

頭彩 一三四、二八〇
二彩 二、〇五三
同 四五、七三五
三彩 二八、一一四
同 三二、六〇五
同 五〇、五六七
同 六二、六九三
同 六三、〇五六
同 一二五、九八三
四彩 一一、八〇二
二二、五三八
四七、一九〇
四八、五一六
六八、六八四
七三、二五〇
九〇、〇二六
一〇三、七四七
一〇五、八一一
一〇七、五七六
一一五、六二七
一一六、五九五
一一六、七八四
一一六、九二七
一二三、九五八

第六回からは頭彩は一萬元
甲乙各五萬枚とし當籤率は倍になる

北滿水災救濟彩票は回を重ねて第五回も十四日抽籤、十五日から第六回彩票販賣せられるが六回からは從來の十五萬口を十萬口としこれを甲乙各五萬枚とし各頭彩は一萬元二彩以下從來通りとなし當籤率をよくすることとなつた

殉職四警官告別式

寛城子遊動警察隊警佐田中典吉氏以下四名殉職隊員の告別式は十三日午後三時、同隊宿舍内で執行された正面祭壇に故人の遺骨を安置し、日滿各界から贈られた夥しき挽花環等に飾られ定刻葬儀委員長の挨拶に次で新京佛教團の讀經同鄕代表谷口師の引導張軍政部長の弔辭代讀長尾警務司長遊動警察隊長其他弔辭と弔電の披露、遊動警察隊長の戰況報告があつて燒香に移り、再び佛教團讚誦裏に參列者順次燒香四時頃式を終つたが遠隔の地に不拘馬車自動車を驅つて參列したものが多く非常に盛儀であつた

殉職警官遺族出發

匪彈に殪れ殉職した新京警察巡査部長故日高岩彦氏の遺骨は十三日午後四時三十分發列車で夫人及令弟に護られ淋しく歸鄕した

朝鮮人青年會創立總會

十三日午前九時より富士町朝鮮人居留民會に於て朝鮮人青年會創立總會を開催した、同會は從來の親睦會の延長で會長に鄭之一氏が選ばれ會員は四十名に上つた相互補助、親睦精神涵養の趣旨の下に作られたものである

吉凶禍福

△新京富士町二丁目一二二番芳一氏次女年江、四日午前四時十分出生
△新京露月町二丁目一〇大塚滿生十三日午前十時三十分死去
△新京錦町四丁目三福田美一氏五女喜美子、六日午後三時二十分出生
△新京羽衣町三丁目本庄完氏長女彌生七日午前十時出生

けふの銀相場

鈔票 金票 [illegible]
大洋 金票 [illegible]
國幣 金票 [illegible]
大洋 鈔票 [illegible]

幕末異聞 愛慾火箭(あいよくひや)

作 瀧川駿 畫 村瀨洗舟

(四)

馬潟の夜(四)

『そなたはお君ぢゃないか?』

山河數百里離れた土地で、思ひがけない古い知人に遭ったのだった。

『如何にも、矢場のお君で御座んす、お變りがなくて何より』

『今頃どうして此處に?』

『先刻の雨に降り籠められて、つひあの苫がけ船で雨やみを』

かう言っておお君は朗らかに笑った。

源之進も、それが江戸の女であるだけに、ほっと安心した。

『大層な姿だな』

『とんだ、女定九郎ですよ』

何時しか、十一夜の月は雲間を抜け出して、宍道湖に、金波銀波と輝いてゐた。

源之進がまだ江戸勤番だった頃、江戸の下谷、三味線堀下水の附近にあった水茶屋、銀閣での知り合ひだった。元、淺草奧山の矢場に居ったので、誰言ふとなく矢場のお君と稱んでゐた。

『珍しい人に遭ったな、そなたが與四郎の後を追って當地へ來てゐると言ふ事は聞いたが、まさかと思ったよ』

お君の顔は、思はず赤くなった。

四邊は、しいんと靜まり返って、柔かく水音が岸を打つ。

源之進は、今の出來事に就いては、出來得るだけ近寄らなかった。

それだけお君の方でも用心しなければならなかった。

『お君、今の様を見てゐたか?』

『えゝ』

源之進はお君に訊ねた。お君の答へは素直だった。

『下手人は、與四郎だと見るが?』

流石源之進の眼力には狂ひはなかった。斬り口から來る腕の工合に依って與四郎と見て取ったのである。

お君の口からは、明確と相手の人は與四郎であると言ひ放った。

『今夜の事は、そなたの胸に[illegible]』

『でも』

『拙者と、そなた以外に知る者がないのだ、與四郎の罪を[illegible]黙ってゐてくれ』

『だが、もう一人ゐます』

『誰だ』

『望月六郎』

『えッ』

源之進は、靑天を叩き落されたやうに驚いた。知る人が知るあらうに、佐幕派の首領、望月刑部の伜、六郎とは……

× × × ×

やがて二人の寄添った影は、城下に向って流れて行った。

× × × ×

城の馬場を見下す高臺にあった源之進の役宅の夜は更けてゐた。

『なあお君、拙者は旅に出る』

ほの暗い行燈の下に、端坐してゐるのは、お君と源之進だった。

『そして何處へ!』

『京都へ行く』

『何時?』

『今宵だ、今宵發足するのぢゃ、明日にもなって人目にかゝっては面倒だ』

奸惡長けた望月六郎は、嘗ての作戦通り、孫太郎の弟喜六に兄の仇討赦免願ひを出させ、大目付にある自分の地位を利用して、赦免狀を下して大勝の太刀を作り、正面から衛門與四郎を仇呼ばはりして、與四郎を殺し、尊王黨の機先を制する魂膽に外ならなかった。

『衛門は、當藩の至寶であり、國家多端の今日無くてはならぬ男だ』

かう言ひ終ると流石に、淋しさうに眼を閉ぢた。

行燈の灯が音を立てゝ鳴った。

時候はづれの蛾が一匹飛んだ。

『では達者で暮せよ』

源之進は蹶起して用意して置いた一通の手紙を床の上に置くと、[illegible]

三月十五日 水曜 庚辰 先負 除 箕宿

●一白の人 待てば甘露の日和も來る物事焦るべからず 乙と巳と庚が吉

●二黑の人 陽氣立たず陰氣勝にて物事の達成せざる日 丁と庚と戊が吉

●三碧の人 氣を荒立つる時は凶に走る皆請勤士は見合 乙と壬と癸が吉

●四綠の人 辛苦は常の事と思ひて心緩めぬが肝要なり 壬と子と癸が吉

●五黃の人 小事より大事を生じ易き日萬般に亘り注意 丁と庚と丑が吉

●六白の人 是まで滯り居りたる事も追々解決に近づく 庚と辛と戊が吉

●七赤の人 口を愼しまぎれば後日に憂ひを殘す事あり 未と庚と亥が吉

●八白の人 午前は吉なれども壯意せざれば午後は失敗 丙と辛と戊が吉

●九紫の人 盛運の日なり但し本分を忘るれば破を生ず 乙と丙と丁が吉

今にして不可解
滿支國境は長城の北
この非國民的地圖を賣るは誰
各種團體猛然起つ

滿洲建國以來、滿蒙支那に關する地圖が各書から發賣せられこれがまた羽の生えて飛ぶやうな賣行であるが、調査不充分のためか、認識不足か、將た故意か熱河省と支那との國境を長城線に取らず熱河省內に入り込んだ從來の省界をもつて色づけ平氣で發賣し居るもの多々あり、熱河討伐完了の今日、なほこの種の地圖が市中に販賣頒布せらるるに於ては日滿兩國民は許より世界一般に及ぼす認識是正の上から由々しき大問題を惹起するものであるとなし、亞細亞研究會、長勇會初め各種團體から

一、不正地圖を放棄燒却せしめよ
一、不正地圖を販賣せる書店及び發賣元に嚴重戒告を加へよ
一、[illegible]

との聲漸く市中に湧き內地はもとより全滿的表面運動化さんとするに至つた

支那、聯盟に乘ぜられることは明
大阪屋號發行の地圖

即ち右不正地圖の最も甚しきは昭和七年六月一日西山榮久氏著作、大阪屋號發行「新滿洲國地圖」である、同地圖は比較的見安い處から滿洲國手引として各方面に『利用』せられ來つたが、たまたま熱河討伐の渦中、右地圖によつてみれば「滿洲國と支那との國境は長城よりはるか東、北薊支那全圖による省境をそのまま山海關より乾安鎭、不柱十、禿々山、柳花嶺の線を確然と色分けし、支那との國境は長城のはるか東北方に示されてゐる、滿洲建國の際大滿洲國の支那との國境は長城をもつて境となすことは判然させる處で、同地圖が昭和七年六月發行せられ居るに何故斯の如き誤謬を平氣で印刷而かも[illegible]斯の如きは支那は許より國際聯盟初め諸外國に對して乘ぜられる結果となり如何に營業とはいえ斯して放置しおくべきものでない」となし右亞細亞研究會及び長勇會は右地圖の『廢棄』[illegible]起つに至つたものである

ば相當長い期間、今日まで平氣で賣捌かれてゐたことは又もつて笑止千萬な次第である

滿洲各地に
公然賣られてるとは何事
亞細亞研究會員談

右不正地圖を發見した亞細亞研究會の某氏は語る

滿洲建國一年有余日、なほ斯の如き不正地圖が市中に『販賣』せられるに於ては日滿兩國のため默し難い、實に認識不足といふか非國民的といふか、この歴然たる事實に對して何たる間違であろうか、もし過ちたるものであらばよし直ちに全部の地圖を燒却して日滿兩國民に謝罪すべし故意になしたるに於ては非國民として處置を講ずるであらう、事實の如き地圖が市中に賣擴められ支那に渡り、聯盟諸公の手に渡らんか日滿兩國今日の主張はこの種不德漢の一事によつて完全にうち壞され彼等に乘ぜられる結果となり自らが自らを縛る破目に陷る、[illegible]して滿洲及熱河の[illegible]『今日』まで何をしてゐたか、昨年六月から今日までさいへ

大ハルピン建設計畫

〔ハルピン十三日發國通〕大ハルピン建設委員會は、大都市建設の五ケ年計畫を樹立し滿洲國に於ける經濟的中心地となす計畫であるが、ハルピンの人口は二ケ年後には二百萬の多數に達するだらうと豫想されて居る

秋季大演習日取

〔金澤十三日發國通〕今秋十月二十二日から二十七日まで福井縣を中心として擧行される陸軍特別大演習日取りは左の如く發表された

自九月十一日至九月二十日　師團幹部演習
自九月廿八日至十月十日　師團中心大演習
自十月十一日至十月廿一日　秋季聯合演習
自十月廿二日至十月廿七日　特別大演習
右內譯
十月廿二日　集合
十月廿六日　演習終了
十月廿七日　大觀兵式

露滿國境附近に匪賊の出沒頻々

〔ハルピン十三日發國通〕最近露滿國境附近に屢々兵匪出沒し十一日朝はポグラニチナヤ附近に三百の匪賊突如來襲我警備隊は應戰直ちに多大の損害を與へてこれを擊退したが我損害戰死二名、負傷一名を出した、特に國境に兵匪の橫行するは某國の支援あるものの如く重大視されてゐる

學級增加の要望が次第に高まる
惠まれぬ新京の兒童たち
父兄間で寄々協議

小さい兒童の胸を高鳴せ父兄の憂慮をかつてゐた、新京の入學試驗も悲喜交々の裡に無事終了したが不幸入學の榮冠を贏ち得なかつた氣の毒な兒童二百有餘名は『多年』の辛苦も水泡と消え、又一年の辛惱をなめねばならぬ破目に陷つた可憐な兒童の負擔としてはあまりにも重大であり、又惱めるであらう父兄間に於ては商業、女學校の學級增加要望の聲が昂まつてゐる、現に奉天中學の如きは去る九日一學級の增級認可あり最も父兄間の力強い請願の『賜で』あるが奉天に比して新京は遙かに入學難で本年の新京商業は受驗者二百二十名、その內九十九名の入學許可で十人に四人の割であり、奉中の十人の五人より入學率は高く如何なる萬難を排しても一學級の增加は焦眉の急務として心ある父兄間には寄り寄り協議してゐる

痘瘡患者が汽車に乘つてゐた
快癒期のもので先づ安心

十三日午前八時三十分洮南發大連行第二十列車が開原到着直前乘務車掌が同列車三等車に天然痘類似患者あるを發見直に開原驛に下車せしめ醫師の診斷を受けた處、右は滿洲人楊明信(十二)で目下天然痘快癒期にある者と判明、開原滿鐵病院に入院させたが、滿鐵では本年最初のものでありこれから暖くなる際とて事件を重大視し、大消毒を行ひ防止に萬全を盡した

關西角力協會
滿洲に巡業

關西角力協會といふのが出來去る二月中旬大阪堂ビル前で初興行相當の成績をあげたが其成績に基き左の新番附が出來やがて滿洲にも巡業に來るさうである

大關　天龍　　小結　錦洋
關脇　大ノ里　前頭　信夫山
前頭　肥州山　前頭　綾の里
同　武の峯　同　玉碇
同　山錦　同　大島
同　倭ケ岩　同　常陸島
同　凌の浪　同　鳴深

以上が主なるもので行司、審判員と言ひ、巡業中の成績も本番附に影響するので大に努力する結果面白い角力が見られるさうである

長城一番乘の若武者池上少尉

〔古北口十三日發國通〕十日古北口突擊の命下り、長城一番乘りの武勳を樹てた田中支隊の中で錦の鞍掛け宮家御下賜の大旆を掲げ驅馬に拍車を加えて『長城』を目がけ驀然と突入せる青年將校あり、其勇壯な姿は全軍注視の的となつたがこの青年將校は名を池上秀雄といふ少尉、士官學校を卒業間もない若武者であるが同少尉は北白川宮永久王殿下と同期生の榮を添ふし卒業の時畏くも御紋章入宮家旗を記念に下賜されたが、池上少尉は此日右御紋章入大旆を掲げながら感激に滿ち長城に突入したものである、腕には赤地の布に白骨を染めぬいた腕章を纏つて決死の程を示し、田中支隊では此一隊を髑髏隊と名付けてゐるが總員五十一名は假令白骨と化すとも敵軍を擊滅せずば止まずとの固い決心池上少尉は腰に傳家の名刀を打込んでゐるが長城突入の際は『敵兵』を斬りまくつたと見え柄は割け、刃はこぼれ、刀身は生々しい鮮血を以つて染められてゐた

第五回彩票頭彩は
一三四、二八〇
奉天森洋行の代賣

第五回北滿救濟彩票抽籤は例によつて十四日午前十時から城內商務總會で關係官立會の下に擧行その結果頭彩以下の如く決定發表された、なほ頭彩はハルピン、三彩は新京、安東、奉天で賣と判明した

頭彩	一三四、二八〇
二彩	二、〇五三
同	四五、七三五
三彩	二八、一一四
同	三三、六〇五
同	五〇、五六七
同	六二、六九三
同	六三、〇五六
同	一二五、九八三
四彩	一、八〇二
	二二、五三八
	四七、一九〇
	四八、五一六
	六八、六八四
	七三、二五〇
	九〇、〇二六
	一〇三、七四七
	一〇五、八一一
	一〇七、五七六
	一一五、六二七
	一一六、五九五
	一一六、七八四
	一一六、九二七
	一二三、九五八

第六回からは頭彩は一萬元
甲乙各五萬枚とし當籤率は倍になる

北滿水災救濟彩票は回を重ねて第五回も十四日抽籤、十五日から第六回彩票販賣せられるが六回からは從來の十五萬口を十萬口としこれを甲乙各五萬枚とし各頭彩は一萬元二彩以下從來通りとなし當籤率をよくすることとなつた

殉職四警官告別式

寬城子遊動警察隊警佐田中與吉氏以下四名殉職隊員の告別式は十三日午後三時、同隊宿舍內で擧行された正面祭壇に故人の遺骨を安置し、日滿各界から贈られた夥しき挽花環等飾られ定刻葬儀委員長の挨拶に次で新京佛教團の讀經、同國代表谷口師の引導、張軍政部長の弔辭代讀、長尾警務司長遊動警察隊長其他弔辭と弔電の披露、遊動警察隊長の戰死報告があつて燒香に移り、再び佛教團讀經裏に參列者順次燒香四時頃式を終つたが遺骨は十三日午後四時三十分發列車で夫人及令弟に護られ淋しく歸鄉した

朝鮮人青年會
創立總會

十三日午前九時より富士町朝鮮人居留民會に於て朝鮮人青年會創立總會を開催した、同會は從來の親睦會の延長で會長に鄭之一氏が選ばれ會員は四十名に上つた相互補助、親睦精神涵養の趣旨の下に作られたものである

殉職警官遺族出[illegible]

匪彈に斃れ殉職した新京署巡査部長故日高若彥氏乃遺

吉凶禍福

△新京富士町三丁目一三三芳一氏次女年江、四日午前四時十分出生
△新京露月町二丁目一〇大塚滿生十三日午前十時三十分死去
△新京錦町四丁目三磯田美一氏五女喜美子、六日午後三時二十分出生
△新京羽衣町三丁目本庄完氏長女彌生七日午前十時出生

けふの銀相場

鈔票	金票	[illegible]
大洋	金票	[illegible]
國幣	金票	[illegible]
大洋	鈔票	[illegible]

プスモスに委ね 神秘の都承德を訪ふ
善美を盡せる奈良の都を偲ぶ
錦州にて＝青山特派員發

三

飛行機より降りた記者を素晴しい大人とでも思つたのか居合せた住民は日章旗、五色旗を打振りながらペコン、ペコンと頭を下げる、記者も一々答禮する、この處ちよつと『應接』に遑がない、飛行機の着陸に物珍しさうに住民は河を渡つて見物に來る、これらの群集の中を分ける樣にして離宮に向つた、城壁の入口には赤と青のアーチが建てられてゐる、城內は日本軍歡迎の渦が卷き、湯の苛斂誅求より脫し王道の光をわかくまでに浴した、市民は正義の日章旗と平和の五色旗の波に王道を謳歌し、樂士のタクトに朗かな平和の前奏曲は歡喜のリズムに乘つて街中を漫步してゐる、生れて初めての大人歡迎にすつかりいい氣持になつた記者は、凍ついた分厚い石疊のペーブメントに承德訪問の第一步を踏入れた、右手に堅く氷結して帯狀となつてゐる『灤河』の支流も過日の春の訪れ」破顏しかけ「春は章旗より」を思はせる、ふと記者の眼に止つたものがある「北平張委員長歡迎」のポスターである、二週間ばかり前張學良が宋子文と飛行機で來昔、抗日作戰を錬つた時の歡迎ポスターであらう、今はすつかりはぎとられてしまつたが、一枚だけとり殘された樣に淋しさうだ、スタンダード石油會社出張所がある、あらゆる現代科學の粹と研究に研究を重ねた經濟機構を以て時代の尖端を行く同社と、清朝時代の豪奢の遺物である、承德を思ひ合はす時自然に『微笑』せずには居られない、離宮の正門に出た四日の我軍の猛擊に最後の牙城とたのむ省城承德を放棄し、倉皇として北支に遁走した湯玉麟の東洋古代美術の豪華を誇る居城である、城門の入口には日本軍の佈告がペタリと貼られ三々五々と集つた市民は讀しさうに大聲で讀んでゐる、赤と青で彩られた離宮の奧まつた一室には從軍記者が疲れを休めてゐるその中には顏見知りの人もちらほらと見受けられた、省政府の事務室であつた冬室は西部隊の本部となりキチンと『整頓』され、立派な角テーブルや紫檀の椅子が並べられてある、皇軍入城五時間前に逃走した湯の部下が捨鉢的にこわしたのであらう掛軸が半分千切れてかけてあつたり、穴のあいた衝立の向ふに窓硝子がかけてゐたりしてゐるのは痛々しい、湯玉麟邸の內房には湯の妻妾の部屋らしい豪奢な寢台が備へ付けてある部屋が幾つもある、枕元には美麗な煙草盆が置かれ、壁には支那古代の美人が湯上り姿で立つてゐる畫が貼りつけてある、天井に吊された豪華なシャンデリヤには湯の贅澤な生活の一端を偲ぶに余りある實に情緒豐かな光景である、湯の起居した部屋には孫文の寫眞を飾り、『達筆』で書かれた三民主義のスローガンの大きな額がかけられてある、窓外に眼を遊せば靜穆たる、老大木の間に悠々とたわむれる鹿の都奈良の樣だ、ひろびろとした池には古色蒼然たる石橋がかけられ、その横手には有名な十二層の老虎塔と全市街を俯瞰してゐる、更に眼を轉ずれば外郭を流れる灤河を隔てて綠の緩い山麓には純西藏式の大寺院がその宏大な規模、善美を盡した宮殿、東洋古代美術の粹を蒐めた寺院の豪華版を競つてゐる、加ふるに自然の景勝すべては奈良朝時代の繪卷物でもくり展げてゐる樣な氣がする、恍惚として時のたつのを忘れ『感嘆』久しうして辭した、飛行機の離陸時間に遅れはしないかと氣づかひながら元きた道を急いだ、機はもう一度承德上空を一周別れを惜しみ將に第二の奈良を離れんとしてゐる、記者は不日寸暇を利し承德を訪れる事を誓ふ、さらば承德、もう一度ふり返れば老虎塔が巍然として熱河の空に聳えてゐるのみ(終)

幕末異聞 愛慾火箭

(讀上映) 作 瀧川 畫 村瀬洗舟

(四)

[illegible]の夜(四)

『そなたはお君ぢやないか?』

山科數百里離れた土地で、古い知人に逢つたのだつた。

『如何にも、矢場のお君で御座んす、お變りがなくて何より』

『今頃どうして此處に?』

『先刻の雨に降り籠められて、つひあの茶店で雨やみを』

かう言つてお君は艶然と笑つた。

源之進も、それが江戸の女であるだけに、ほつと安心した。

『大層な變りだな』

『とんだ、女定九郎ですよ』

何時しか、十一夜の月は雲間を抜け出して、宍道湖に、金波銀波と輝いてゐた。

源之進がまだ江戸勤番だつた頃、江戸の下屋敷、飛地下水の附近にあつた水茶屋、銀座での知り合ひだつた。

元、通る馬道の矢場に居つたのを、朋輩言ふとなく矢場のお君

と睨んでゐた。

『珍しい人に逢つたな、そなたが與四郎の後を追つて當地へ來てゐると言ふ事は聞いたが、まさかと思つたよ』

お君の顔は、思はず赤くなつた。

四邊は、しいんと沈まり返つてゐて、さかく水音が岸を打つ。

源之進は、今の出來事に就いては、出來得るだけ泥寄らなかつた。

それだけお君の方でも用心しなければならなかつた。

『お君、今の様を見てゐたか?』

『えゝ』

源之進はお君に訊ねた。お君の答へは意外だつた。

『下手人は、與四郎だと見るが?』

流石源之進の眼力には狂ひはなかつた。斬り口から來る腕の工合に依つて與四郎と見て取つたのである。

お君の口からは、明確と下手人は與四郎であると言ひ切れた。

『今夜の事は、そなたの胸に留めて置いてくれ!』

『でも』

『拙者と、そなた以外に知る者がないのだ、與四郎の事を思はゞ默つてゐてくれ』

『だが、もう一人ゐます』

『誰だ』

『望月六郎』

『えッ』

源之進は、飼犬を叩き殺されたやうに驚いた。知る人ぞ知るあらうに、佐幕派の首領、望月刑部の伜、六郎とは……

やがて二人の寄添つた影は、城下に向つて消れて行つた。

× × × ×

藩の馬場を見下す高台にあつた源之進の役宅の夜は更けてゐた。

『なあお君、拙者は旅に出る』

ほの暗い行燈の下に、相對して座してゐるのは、お君と源之進だつた。

『そして何處へ!』

『京都へ行く』

『何時?』

『今宵だ、今宵發足するのぢや、明日にもなつて人目にかゝつては面倒だ』

奸惡長けた望月刑部は、嫡子の作戦通り、孫次郎の弟喜六に兄の仇討赦免願ひを出させ、大目付にある自分の地位を利用して、赦免狀を渡して大勢の助太刀を作り、正面から衛門與四郎を仇呼ばはりして、與四郎を殺し、尊王黨の機先を制する魂膽に外ならなかつた。

『衛門は、當藩の至寶であり、國家多端の今日無くてはならぬ男だ』

かう言ひ終ると流石に、源之進もさうに眼を閉ぢた。

行燈の灯が音を立てゝ鳴つた。時候はづれの蛾が一匹飛んだ。

『では達者で暮せよ』

源之進は懐て用意して置いた一通の手紙を床の上に置くと、狭二つ巴の紋付に、白襷多の帯、刀を無造作に佩すと、猫のやうに表へ出る

三月十五日 水曜 庚辰 先負 除 箕宿

●一白の人 待てば甘露の日和も來る物事焦るべからず 乙と巳と庚が吉

●二黒の人 陽氣立たず陰氣勝にて物事の成就せざる日 丁と庚と戊が吉

●三碧の人 氣を荒立つる時は凶に走る誓請動土は見合 乙と壬と癸が吉

●四緑の人 辛苦は常の事と思ひて心緩めぬが肝要なり 壬と子と癸が吉

●五黄の人 小事より大事を生じ易き日萬般に亘り注意 丁と戊と丑が吉

●六白の人 是まで滞り居りたる事も追々解決に近づく 庚と辛と戊が吉

●七赤の人 口を愼しまざれば後日に憂ひを殘す事あり 未と庚と亥が吉

●八白の人 午前は吉なれども注意せざれば午後は失敗 丙と辛と戊が吉

●九紫の人 盛運の日なれ但し本分を忘るれば破を生ず 乙と丙と丁が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和八年三月十五日　新京日日新聞　（水曜日）　第三千八百六十九號　（一）

新京日日新聞

定價 一箇月 金一圓 …… 郵税 ……
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二二五番・三〇〇番
發行人 十河 忠男 編輯人 松本 …… 印刷人 谷 啓二郎

齋藤内閣の命數打診

高橋藏相勇退で現内閣も總崩れか

來る五、六月頃と見られる

（東京十四日發國通）高橋藏相は舊臘中鈴木總裁と會見の際、議會終了後勇退する旨の意見を表明した事實があり、議會も終了し豫算實施の手續が濟めば勇退すと見られ、小山法相も不祥事件の調べが濟めば辭任すべく、此事情から齋藤内閣は五、六月頃内部的に崩壞すと見られてゐる

翰長の辭任から小山法相責任問題

（東京十三日發國通）柴田翰長は家庭上の事情の爲め遂に辭任したが、之に關聯して某事件に對する小山法相の責任問題も再燃せんとする形勢あり、政府部内でも憂慮してゐる向きがあるが、法相として先に衆議院本會議並に委員會で事件の全貌が明かとなれば責任をとるべき必要が起らばその時改めて考慮すると述べてゐる關係上、自身の進退問題に就て愼重考慮してゐるものの如く政友會方面及政界の一部では法相の進退に深甚の注意を拂つてゐる

に影響する恐れあり、藏相の進退問題如何に就ては重大視される

今議會終了後の適當の機會に

鈴木總裁と口約束

（東京十四日發國通）現内閣が議會終了後も現狀のまゝ時局に處し得るや否やに就ては各方面より多大の注目を拂はれつつある、ところが、現内閣の柱石たる藏相は、既に昨年末鈴木總裁と會見し、今議會に臨むに當つての重要協議を爲せる際に於ても

「自分としては前の臨時議會に於て財界應急策を樹て今通常議會に於て財界根本方策を樹立する以上、最早やその職責を盡せるものとして藏相の職を退く考である、よつて、せめて本議會丈けは國家のため何分援助して貰ひ度い」

旨を申込んだ事もある、明年度豫算を始め各種の財界對策が議會を通過せる場合は、其の能事終れりと愈々議會終了後適當の機會に潔く勇退するものと見られるに至つた、而して首相としては今尚非常に於ける使命解消せず、議會終了後も引續き時局に善處すべしとの意向を有する以上、藏相の辭任に對しても極力慰留を勸告する事に至るものと見られるが、其の成否如何によつては、齋藤内閣全體の運命

法、文相責任も重大視される模樣

（東京十四日發國通）柴田翰長の辭任實現は現内閣の延命策と見る向きあるも、事實は簡單で家庭上の私事に依り引責したのであるか、尚問題は司法官の不祥事件と關聯して居り、小山法相が責任を負ふべきで、長野縣下の事件と關連し鳩山文相も責任重大であるから今後は法相、文相の責任問題が重大化するやゝ

樞府精査委員會

一兩日中に任命

（東京十四日發國通）聯盟脱退の樞府諮詢案の下審査會は昨日午後二時半樞府事務所で二上書記官長、堀切官長、松田條約局長、帶刀亞細亞局長等參集し、堀切長官提案理由を説明し、松田、谷兩局長が脱退通告書と附屬理由書を説明し四時半散會したが、精査委員會は一兩日中に倉富議長が指命の上、速かに審査を開始すると決定した

留保附で參加

米國聲明書を發表

（ジユネーヴ十三日發國通）二十一ケ國諮問委員會參加を承諾した米國政府は、右參加に就き種の留保を付す模樣である此の點を説明した、米國政府の説明書は十四日ジユネーヴとワシントンの二個所で同時に公表される模樣

日本と支那の財政

米紙の報道

三月十日ボルチモーアサン紙は上海特派員バルトンの「日本の商戰に於けるリード」と題する左の如き論文を掲げた

卅二年度の日本輸出貿易は卅一年度に比し二十パーセントの增加を示した、日本は目下豫算の編成に苦心中であるが、日本には戰債なく外債も西歐諸國に比して少く、又歳入不足も外國の標準による時は大したことではない、豫算の半數は軍費に充てられて居るが、人民は事實上滿洲獲得により現在の負擔は補はれたものと信じてゐる、他方南京政府は豫算の均衡を得たる事及其公債は市場に於て日本及諸外國の公債よりも高價に賣買せられつつある事を自慢して居る、支那の歳入力大分ノ一を減じてゐるに拘

英國の武器禁輸は僅か十五日間

政府の面目丸潰れ

（ロンドン十三日發國通）英國政府は去る二月二十七日極東に向け武器輸出禁止を決定發表したが、その後米、佛を始め各國何れも英國の處置に習はず、何もその效果が上らないので遂に十三日午前の閣議で武器輸出禁止を解禁する事に決定、本日午後五時の下院に於てその旨聲明した日支兩國に向け武器輸送すべきものは僅か十五日間で失敗に歸し英國政府の面目丸潰れとなつた

らず、豫算の均衡を得たのは、確に宋財政總長の功績だが、右は單に記帳上の手柄に過ぎぬ、官吏兵士は一年餘り給料の不渡りなるのみならず、教育、衞生其他の建設事業に投じたる金額は言ふに足りない、軍費は千八百萬元も支出して居るが、右は國防の爲めならずして、共匪討伐のためである、日本其他の諸國に寄し政治を行はば其豫算の不均衡は遙かに日本を凌駕するであらう、又支那内外債の市價維持は關税、鹽税の擔保あるが爲めで、支那は支拂を延滯せしめんと欲するも延滯の實力が無い

湖北省公債三百萬元

（漢口十四日發國通）省政府が昨年來計畫中の善後公債三百萬元は愈々近かく發行に決定し、政費及道路修築費に充てられる筈である

は一般に閑散、相場は對ロス三厘四十三仙四分の休業前の最終相場たる三十六仙分の一と大差なくつて三仙高下廻つてゐる、米日爲替はノミナル二十…で三日の最終相場二十一…仙に比して九十四仙高、…滬もノミナル相場三十一…三月三日の二十九弗九十仙に比し一弗五十仙方の高價である

北支新政權には警戒を怠らず

自衞上必要の處置に出でん

軍政部某要人語る

國民黨系北支政權の樹立に對し軍政部某要人は十四日軍政部に於いて左の如く語つた

熱河經略は友邦陸軍の健鬪に依り美事な成績で終了し對熱河總司令部も昨十三日無事凱旋し

『前敵』總司令部に於ても今や其統率する諸軍を治安維持の爲めの警備姿勢に移すこととなつたが、軍政部に於ては今尚北支の動きに對して注視の眼を見張つて居る殊に學良の下野に伴ひ生れたる國民黨系北支政權に對しては其の從來よりの態度に鑑み大いに警戒しつゝある卽ち長城線を確保して敵へて動かざる滿、日軍に對し北支新政權が引き續き攻勢的軍事行動乃至は攪亂的秘密政治工作に出づるに於いては滿洲國は自衞上必要の處置に出でざるを得ざるに至るものと云ふべく

『此點』は中外に其認識を求むると共に新政權に對し大に警告する次第である。思ふに滿、日、支は結局相和合して世界に臨むべきものであるが迷夢が醒めねばこれば降魔の利劍を振ふこともまた已むを得ざる次第である

は各省分擔、戰時費は北平分會に於いて負擔することとなつた、右は蔣介石が着々北支軍權を中央の手中に收める前提と見られ注目さるゝ

北支軍權着々中央に

（北平十四日發國通）蔣介石關錫山會見の情況に就き其後判明したるところに依れば、日本軍の熱河完全攻略に依り直接影響を受くる察哈爾の守備に就きては山西綏遠兩省軍を以て之に當て、其の統率權は北平分會に移し、且つこれが軍費は、右兩省で維持…

上海諸新聞

蔣介石を痛撃

（新京十四日發國通）上海における支那諸紙は熱河の悲報を傳ふることを愼みつつありしが、昨今急に失敗の原因は湯玉麟、僞勇軍ばかりでなく、學良、蔣介石に負はせねばならぬと論じ、中央政府を非難するの文字を連ね殊に最近政府が北方に宋子文、何應欽に次ぎ蔣自身も北上するが、大いに之を輕蔑すべきである然し蔣の北上は内政上からでなく眞の抗日的思想で敢行して欲しいと論じ、申報の如きは蔣は此際トルコのケマルパシャの如く救國の盟主となることを國民が切望してやまぬと稱じてゐるなは支那新聞の論調は支那軍の配置狀態は抗日攻擊でなく、專ら防禦にあるは甚だ遺憾だとして居る

蔣介石通電

東北將士に

（北平十四日發國通）蔣介石は十三日軍事委員會委員の名で保定より「東北の將士に告ぐるの書」なる通電を發したが、先づ東北將士の奮鬪を稱揚し、學良の引退に言及し、明かにせるものなりと賞め上げ、學良の責任は中正の責任なり、學良の休戚は中正の休戚なり學良と共に完うするを得ざりし志は中正と共に完了するに力めよ、と激勵した

煉瓦自給組合

滿洲土建協會で組織

新京に於ける煉瓦の本年度需要は一億を豫定せられてゐるが現在の當地生産能力は需用の三分一に達しない現狀にあるので目下企業計劃中のものも相當あるやうであるが之が製造實現する迄は到底不足を來すべく工事繁忙期に入れば需用供給の均衡を失する事になり、從つて價格暴騰り上げ施工者の損失となるので滿洲土建協會では煉瓦の製造を爲すべく建設局に交渉した結果、建設局で賛成し工場用地貸下の内諾を與へられた模樣である、之が爲め協會では直ちに協會員有志を以て煉瓦自給組合を組織する事として計畫を進めてゐるが其内容は左の如くである

一、用地三萬坪借受内諾濟
一、設備支那窯二三基又は三五基
上り窯二基又は三基
資金二萬圓一日五百圓
四十口
一、生産年一千萬圓
一、價格市價より廉價に配給の豫定
右實現の曉は品不足より生ずる競り上げも成程度迄調節さるゝであらう

米國聯邦準備加盟銀行十三日開業

（ニユーヨーク十三日發國通）聯邦準備加盟各銀行は十三日より營業したが外國爲替取引

東京の爲替銀行再開

（東京十四日發國通）東京に於ける爲替銀行は昨日午後打ち合せの結果、十四日から替取引を再開する事に決定した、政府では圓爲替の急騰…壓方針なる故、正金でも此の方針にて對米アクセプタンスレート二十二弗内外に定むと見らる、大阪でも十四日再開

貴族院より武藤司令官に感謝電を寄す

（東京十三日發國通）貴族院では十三日午前九時三十分院内に各派交渉會を開き關東軍に對し、本會議で一條公より此動議を提出し可決されたので徳川議長は同日午後、武藤關東軍司令官に對し左の如く打電した

貴軍が酷寒に堪へ嶮峻を冒し、神速果敢宜く熱河の兵匪を掃蕩し、滿洲國の平和に貢獻せるの勞苦に對し、貴院議によりて貴院を代表し篤く感謝の意を表す

禁酒法を修正して

增收をはかる

（ワシントン十三日發國通）大統領は更に積極的增收に依る收支の均衡回復策として、禁酒法案に關する現行憲法を修正し、第十八條の下に於いて、許される範圍で實行し得るビールの釀造並に販賣の許可及び之に對する課税を計畫し、十三日突如、第三次教書を議會に送つて右の計畫を敢行した

人事往來

▲三浦鎭郎氏（吉林省總務廳長）十四日午後四時來京
▲船津辰一郎氏（元天津總領事）十四日午後四時三十分南行
▲岡野勇氏（吉業課）同上
▲西敏雄氏（領館）十四日午後七時五十分來京豫定

市況

▲上海倫敦向

賣値	一志八片十八分七	—
買値	一志八片十六分五	—

▲上海紐育向

賣値	二十九弗二分一	
買値	三十弗〇〇〇	

▲大連鈔票

現物	一〇〇三〇	九九九〇
寄付	明	遠
近物	九九九〇	限
止値	一〇〇一〇	—
引値	九九八五	—
高値	九九七五	—
安値	九九六〇	—
出來	九九五〇	—

▲大連上海向

▲大連爐台向

▲阪神日米爲替

第一回	二十弗八分七
第二回	二十一弗〇〇〇
第三回	二十一弗二分一

▲大坂株式

大株	一二三五〇	一二三四〇
大新	一二五七〇	一二五六〇
鐘紡	二三六九〇	二三八〇〇
總新	一〇九五〇	一〇九〇〇

▲同短期

大株	一二二五〇	一二四五〇
大新	一〇六九〇	一〇六九〇
鐘紡	一七五二〇	一七五五〇

▲大連株式

五品	三二〇	三〇一〇
錢鈔	二二八〇	二八〇〇

●豆粕

四月限	五〇四	五〇一
五月限	五〇九	五〇三
六月限	五一三	五〇六
七月限	五二五	五一〇

●豆

現物	一五五五	一五四五
四月限	一五八五	一五七〇
五月限	—	—
六月限	一六〇〇	一五八五
七月限	—	—
八月限	—	—

●豆油

現物	一四〇〇	一三九五
四月限	一四〇〇	一四〇〇
五月限	一三九五	一三九五
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—

●高粱

現物	—	—
三月限	二、四〇	二、四三
四月限	二、四五	二、四五
五月限	二、五〇	二、五一
六月限	二、五五	二、六
七月限	—	—

▲哈爾賓特産

●大豆

三月限	八〇〇〇	八〇〇〇
四月限	八一五〇	八一〇〇
五月限	八二五〇	八一五〇

●小麥

三月限	—	—
四月限	—	—
五月限	一三〇〇	一三五七五

▲カルカツタ麻袋

筋	四留出四分三
銭	三留出八分一
替	八留出丁度

▲大連麻袋

現物	三毛二厘
八月限	三毛二厘
出來高	一萬枚

敵の援兵增加し 喜峰口は大激戰か

わが空軍早くも活躍して 敵の主力に大損害を與ふ

（錦州十四日發國通）喜峯口の敵は昨朝再び猪口才にも逆襲し來り午後に至るも交戰中だ、我飛行機の偵察に依ると援軍續々集結し事態惡化し再度の激戰を免かれぬ模樣である、服部々隊長は全員を鼓舞し最前線に立ち指揮し、全軍緊張、飛行機〇台は昨朝喜峯口の上空に向ひ、敵の主力を爆撃し多くの損害を與へた

數千の後續部隊 前線に向けて急行中

（錦州十四日發國通）十二日早朝〇〇發の飛行機の齎らせる報告によると、喜峰口方面は目下激戰中で硝煙濛々とし低空飛行困難であつた、敵は敵兵線を布き我機の上空に至るを待つて一齊射撃をしたが〇〇機は敵の主力に爆撃を加へ多大の損害を與へ陸上部隊の活躍を有利とした敵は爆撃に會ひ漸次退却中であるが後方には灤州附近に堅固な塹壕を構築し戰備を整へ、又大道には北へ北へと數千の大部隊が百數十臺のトラックに乘り前線に向け進行中で長城に於ける再度の開戰目前に迫つてゐる

まづ前面の 殘敵を潰滅す

（喜峰口十四日發國通）十三日早朝から行はれた服部部隊の喜峰口前面にある殘敵掃蕩は我軍の果敢なる突撃奏効し敵を粉碎して凱歌を擧げた、殘餘の敵は各高地に築いた銃眼によつて頑強なる抵抗を試み、激戰數時間に亘り我軍は機を見て午後二時銃劍をひらめかして敵然要害に立籠れる敵軍中に突入、之を粉碎して陣地を占據した、この戰に於ける我軍の損害は戰死一名、負傷七名であつた

第一次目的を達成

（喜峯口十四日發國通）喜峯口前衛の殘敵掃蕩中の服部部隊は第一次目的を達し十三日午後十一時、長城の線に引揚げた、敵は宋哲元軍なること判明、本日も引續き掃蕩繼續中である

古北口一帶 平和の春訪れ 敵影今や全く無し

（古北口十三日發國通）川原部隊の古北口入城により當方面の治安復歸し目下當地一帶は平和の春を迎へ敵兵は既に完全に潰走し逆襲の虞なし

氣の毒な 赤峰附近の住民

赤峰附近の村落は一見整然とした冬の樣に見えるが一度内部に立ちいたつて見れば附近殆んどが匪賊の爲に粟高梁は勿論目ぼしい物は一物も無い樣に掠奪され目も當てられぬ慘狀を呈し住民は總て何れかへ逃走しのこつてゐる者は不能者老人等逃走の出來ない者ばかり眞に氣の毒な有樣である

百武大尉奮戰 古北口の戰に於て

（承徳十四日發國通）古北口の敵はその後逆襲し我部隊を豫想以上に苦戰させたが十三日午前三時小泉部隊が北關を爆破し引續き百武大尉が飛び來る彈丸を物ともせず奮戰し遂に古北口を完全に占領し川原部隊の主力も入城した

熱河省各地 領事館 近く開設する

（東京十四日發國通）外務省では熱河の治安回復せば、邦人移住者の激增を見越し、赤峰領事分館を再開するに決定ある、開館期は四月上旬の見込みで、尚承徳にも領事分館を開設の筈である

ハルピンの滿洲人も 震災に義捐金

（ハルピン十四日發國通）東北地方大震災大海嘯を耳にした當地の滿洲國要人連は昨年の大洪水及びコレラ流行の際我が國民から受けた救濟に對する好意に酬いるはこの時とばかり、各方面で義捐として同情起り、早くも二、三の滿洲國人は我民會へ對して義捐金を申出でたとのことで、手遲れの在留邦人をして顏色なからしめてゐるが、更に滿洲國の要人は昨十三日午後二時から市政籌備處に集り、友邦震災義捐金募集方法について協議したが、一般的に義捐金を募集する外積極的方法によつて成るべく多くの義捐金を集めることとなつた

中西地方部長 官民と懇談

滿鐵地方部長中西敏憲氏は地方施設視察のため十四日來京したが十五日午後六時からヤマトホテルに新京各界の人々を招待懇談會を開催すると

餘糧堡附近 避難民救濟に 通遼紅卍會が大童

（四平街支局發）通遼紅卍會に於ては過般匪軍が餘糧堡占據に依り同地附近一帶に避難民續出し之が救濟策として會員を派遣し敎登台（通遼西方六〇支里）錦龍鎭（餘糧堡東南二〇支里）の二ケ所に救濟所を設置、避難民の收容、施粥等の救濟に努めつゝあつたが這回錦龍鎭が閉鎖し城内二ケ所に救濟所を增設收容者に施粥及び衣服の施與を爲し極力救濟に努めつゝあるさ、尚避難民救濟狀況は

	施粥者收容人員	無衣者人員	施與衣服數
通遼縣城内	三三六	六〇	六五
白音太拉	二八〇	一六	三三
敎登台	一六四	一五	二二
鄂捕桶	｜	八	一二
計	七八六	九二	一三二

而して右避難民に對する施粥の高粱は一般會員及び地方篤志家の寄贈に依り衣服は通遼方面に於ける窮狀を聞知したる新京紅卍會に於て過日五〇〇着送付し來たものである

體育の民衆化 まづ事業資金調達に

滿洲國體育協會支部奔走

大滿洲國體育協會新京支部では「建國の礎は先づ体育」をスローガンとして、スポーツの大衆化をはかるべくいろいろ事業計畫を立ててゐるがこれが先立つ資金を一般の

＝寄附＝に俟つこととし今十五日から新政府方面および一般有力者に對し會員の募集に着手することとなつた、會員は贊助員（年額十二元以上）特別贊助員（同三十元以上）名譽會員（同百元以上）の三種に分け、同會の趣旨に贊同して規定の金額を納付するものである、右につき同支部では語る

體育協會としては一般民衆の体育向上に資したいのであるがまづ學校および俸給生活者から這入ることが近道だと思つてゐる、なほそれには競技よりもまづ体操方面と

＝冬の＝戸外運動の普及が何より急務であり、これがために体育館を設置するいさがぜひ必要でこれには十五萬元も要する見込みである、何をいつても先立つものは金であり此際体育に理解ある大方諸賢の贊助を得たい

贊助員募集趣意書

大滿洲國体育協會新京特別市支部では別項の如く支部長金璧東氏の名を以て贊助員を募集することになつたが、その趣意書は左の通りである

惟ふに國家興隆の基は國民の活力にあり體育動は即ち國民の精神を作興し健康を保持增進せしむるは言を俟たず、當今世界各國が事りて之れが發展に努力邁進しつゝあるは洵に故ありさ謂ふべく我が新興大滿洲國も建國に際し如何に體育事業の急務なるかを痛感し、先づ國務院文敎部内に体育協會本部を置き、續いて各省に支部を設け着々所期の目的に向つて事業を遂行しつゝあるは既に一般各位の知のところである

我が新京特別市支部は新京に於ける体育事業の大任を帶びて大同元年八月設立さるや「建國の礎は先づ体育」をスローガンとして使命に向つて一路邁進し來たりしが、此處に希望の年頭國第二年の黎明を迎へて体育の大衆化、スポーツによる國民の大同團結、更に出來得べくんば先進國に於て偉大なる成果を納めつゝあるに鑑み、體操による王道精神並に民族融和のスピリットムーヴメントを企圖し外に向つては國民外交の使徒としスポーツを以て國威發揚に努力精進せんことを期するものであり、顧はくは本會の事業に贊し「贊助員會費」一般寄附及補助」を以て維持する本會のため是非贊助員として御後助賜り眞に我等の體育協會として堅實なる發展の上に御指導あらんことを切望して止まぬ次第である

周旋業には今後許可主義 警察で嚴重取締る

鐵東區に於ては從來不動産賣買若くは賃貸借の紹介又は旋旋、結婚者の紹介の營業に對しては無許可でも何等差支なく默認してゐたが今後は必ず正式の手續を得て警察當局の許可を得ねばならぬ樣に今回規則が改正されたので新京署保安係では嚴重これを取締る事となり、違反者は發見次第遠慮なく處罰をなす方針であるさ

就職口なく 途方に暮れる 渡滿者が多くなる

遠大な希望を抱いて渡滿したが事志と反して就職口はなく、金も使ひ果して旅費さへもなくなり新京署保安係へ泣き込む者は相變らず增加する一方で、本年に入つてからも既に百二十一名の多數に上つてゐる、これから解氷期を待つて益々滿洲熱に浮かされ漫然と渡滿する者が多くなるだらうと當局は今から頭痛鉢卷の態であるが中には二ケ所三ケ所の警察の世話になる者も尠くない

初任國道局長 藤根壽吉氏を起用

十三日の國務院會議で可決、十四日參議府會議の通過を待つて左の通り發令されることゝ決定した

任國道局長 叙簡任一等 藤根壽吉

任國道局技正兼國道局技術處長、叙簡任二等 本間德雄

任國道局技正兼奉天道路建築處長、叙簡任二等 中村貞輔

吉林省公署參事官 高井乃濟

任稅務監督處長兼黑龍江稅務監督處長、叙簡任二等

藤根壽吉氏は日露戰役に出征、勳功に依り勳八等功七級を授けられ其後獨立守備隊に入隊し鐵道守備の委任を果し除隊後は第一線の地にて農業に從事溫厚篤實の士である。

平山氏美擧 鄭家屯分會へ寄附金

（四平街支局發）鄭家屯在住農業平山豐作氏は今回同地在鄉軍人分會設立週年に當り、同分會に金五十圓を寄附、同氏

日本茶の滿洲輸入好望 支那茶の輸入不振から

近時關稅關係から支那茶の滿洲輸入が頓に不振となり、延いて日本茶の滿洲輸入の好望を期待されるに至り、其の一例として撫順に於ては日本の茶業組合に依つて從來の支那側の販賣權を完全に獲得するに至つたが、一方また米國の金輸出禁止の結果支那茶の米國向輸出も不振となつたので此の方面へも日本茶の輸出を期待されてゐる、何れにしても日本茶の滿洲輸入は同業者間に最も有望視されてゐる

殉職警官の弔慰金募集

去る六日國都新京警備の尊い犧牲となられた古高、李兩刑事の英靈を弔し且つ遺族を慰藉する爲め左記に依り弔慰金募集を致しますから市民各位の厚き御同情を御願ひ致します

記

一、金額　制限なし
一、申込　地方事務所庶務係又は各區長へ御申込下さい
一、締切　三月二十五日限り
一、其他　領收證を發行せず、但し新京日報並新京日々新聞に金額芳名を掲載して領收證に代へます

三月十四日

發起團体　地方事務所　商工會議所　地方委員會　各區長　居留民會

後援　新京日日新聞社　新京日報社

東京ガス疑獄 三十一名起訴さる

（東京十四日發國通）昨秋九月鈴木寅彦召喚から口火を切つた東京市ガス疑獄は東京地方裁判所檢事等取調べの結果醜狀暴露し、市高級吏員代議士、市會議員にして起訴された者三十一名に上つたが、昨日豫審終結した一名の免訴者も無い

葆次長一行赴哈

明十五日から東省特別區警察管理處を東省特別警察廳と改稱し十五日開廳式が擧行されるので、これに參列のため民政部次長葆康氏竝長尾警務司長は同朝八時四十分發列車でハルビンに出張した

巷の見聞

△富士町國際溜輪の向角に出來るサロン富士、可なり大規模のやうだ、新京の夜の繁華は三笠町から富士町へかけていよいよ擴がつて行く

△吉野町のレストランヤマトはいよいよ精養軒の藤井甚作君が五千四百圓で買取ることに話がまとまり既に手續きをすましたさうだ、解氷後の新京の大繁昌を見越しての奮戰

▲精養軒のタエ子、肉體的の戀は嘗つて經驗した事がサイく、チョイ〳〵あるさうですが、精神的の神聖な戀は未だイヤ〳〵、たつた一度だけあるさうです▲おそらく彼女の生涯を通じてこれ程熱烈に胸の火を燃やす事はないであらう程命を打ち込んだミーさんが東京へ去つたので他で見る目もあはれな程ヒカンして居ますなくんじやないよ▲新富の光弼、なかなく丈夫な口を所有してゐます、その中から飛び出す言葉も又タツ…なものです、なほ一番得意とする處は寢て居て大きな尻を振り振り、エッサッサ!…と車を引く事です▲同じく小浪首筋に故障を來し頸十文字に繃帶してゐます、原因は彼氏と寢て居てあまり!……だそうです▲小櫻のレイ子病氣して床について居ますが何の病氣でせう新京のお醫者さんでは病名がワカラン、それは本人が一番良く知つてゐるさうです

なかく巧いものだ

△新榮でたべものはうまく而も至つて閑靜でと評判のいゝ千鳥にゐた仲居のおみきさんの開店した「こさぶき」參謀のマーさんの斷引鮮かにポックく若い藝妓を抱へこんでゐるが今度來た、くに丸、マーさん鼻をうごめかしてゐるさうですいゝでせう！

△三笠町の旅野、御大古田さん先月末に東京にちよつと歸つたがお土産にはすばらしいところを二、三名帶同して近く戻つて新界を驚かすさうだ

△飲食店やカフエーの値上げ請願が州算を挫かれた形で暫く潜めたが又新う物價が昂つてやたまらないさ又値上請願を醞釀しつゝある

運命鑑定